



広報

那覇市民の友

第681号 毎月1回発行
2007年(平成19年)

10月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2007(平成19)年8月末現在	
総人口	316,234 (2,036)
男女	152,610 (1,063)
世帯数	130,949 (1,209)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	93,756
真和志	104,922
首里	58,137
小祿	57,383



今年も世界に誇る大綱に!

大綱づくり急ピッチで進む

沖縄に秋の訪れを告げる那覇の四大まつりの一つ、那覇まつりの「那覇大綱挽」を前に、大綱の製作が急ピッチで進められています。

那覇の大綱挽は、琉球王国時代から行われる400年近い歴史を持つ伝統行事で、国王の慶事などで催されたとされています。

「那覇大綱挽」で使われる大綱は、ご存知の通り、ギネスブックにも認定される世界一の大綱で、女綱100メートル、男綱100メートル、全長200メートル、43トン誇ります。

夏の日差しが残る9月上旬、その大綱の製作現場である那覇軍港を訪ねました。

現場では、15人の作業員が炎天下の下、細い綱3本で化粧綱を束ねる作業や、出来上がった化粧綱で芯綱を巻き上げる作業を力強く丁寧に行っていました。

特別顧問を務める東江芳隆さんは「天候にも恵まれて、最高の綱が出来ました。今年も黄金色の大綱での綱挽を、挽き手になるみなさんに楽しんでもらえると思います」と胸を張りました。

今年の「那覇大綱挽」は10月7日(日)に、国道58号久茂地交差点周辺で行われます。

幸せを挽きあうと言われる、大きさも美しさも世界一の大綱。みなさんも是非、体験してみてください。

主な紙面

「ゴミのポイ捨て・不法投棄はしない!させない!ゆるさない」市職員の給与・職員数のあらまし 障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざします

6 4 3 2
7 5

情報PACK

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

市では「協働のまちづくり事業」の一環として、新しい生活のあり方を市民・県民と協働して考え、取り組むとともに、環境と共生し、人々の心が通い合う住み良い社会を創ることを目的に活動しているNPO法人しまづくりネットと「2007年はカーフリーデーと「2007年の協定を交わしました。」

また、共催するNPO法人しまづくりネットの中村理事長は「環境や街での暮らしを考えると、カーフリーデーの考え方は、将来の理想のまちづくりに有効だと思います。私たちは、那覇市と協働で、環境にも人にもやさしいまちづくりに取り組んでいきます」と抱負を語りました。

カーフリーデーとは、都市の中心部に自動車を入らずに、公共交通機関、自転車、徒歩などで街中を移動することで、交通や環境の問題について考えるとともに、望ましい都市交通のあり方を考えるための社会啓発活動です。

この活動は、1997年9月にフランスのラ・ロシェルで始まり、翌年の98年には、フランス政府の呼びかけで、フランスの各都市で、平日にこのイベントを実施し、日常生活に大きな支障がないことが実証されました。

現在では、同活動は環境と交通を考える世界的なプロジェクトとして広まり、2006年の参加都市は1300を越えるものとなっています。

県内で初めてカーフリーデー事業を実施するにあたり、翁長市長は「今年度はマイカーの乗り入れ規制は行いませんが、市民のみならずには、地球環境と都市交通を

協働で街にも 環境にもやさしく

9月22日・23日には、那覇ぶんかテンプス館前広場をメイン会場に、環境に優しい電気自動車や電気自転車の試乗会などのほか、海外でのカーフリーデーを紹介するパネル展やシンポジウムも予定されています。

環境と交通を考えるいい機会になるといいですね。



街中を歩いたり環境にやさしいベロタクシーを利用することで新しい発見があるかも